

サイバーセキュリティ戦略本部 研究開発戦略専門調査会  
研究・産学官連携戦略ワーキンググループ中間報告(仮称)  
骨子イメージ(たたき台)

R2.9.10

## 1. はじめに

### ・経緯および背景

若くて伸びている研究分野

サイバー空間の拡大・融合／研究コミュニティの活力／産学官にわたるエコシステム構築の重要期

### ・研究開発戦略や研究・技術開発取組方針との関係

戦略の考え方や方法論を踏まえ、取組方針の方向性に沿って、エコシステムの構築に向けた検討及び具体的な研究分野やテーマを検討

## 2. 我が国の研究コミュニティの状況を踏まえた推進方策

### ・研究分野の特徴と国際動向

研究発表が急速に伸びている／産学共著論文が増えている／中国が躍進している

情報・セキュリティ分野の特徴として柔軟で優秀な人材が大きく研究を進展させる可能性

「真ん中」の発展方策を検討することが重要

### ・人に投資すべき

博士課程／RA 経費の有効活用

### ・産学官連携の可能性

海外の事例／日本の可能性

### ・研究コミュニティ全体での発展

研究プログラムや研究拠点の形成検討に研究コミュニティの活力を結び付ける／

ファンディング機関との協働／それぞれの構想検討に当たって留意したいこと

## 3. 我が国の強み・ポテンシャルと重点的な強化に向けて

### ・我が国の強みとポテンシャル

#### ・重点的な領域

科研費等による自由な発想に基づく研究は引き続き重要であり発想・学理・シーズの源泉／

重点的な領域を意識して研究コミュニティが活動を行うことで研究プログラムや研究拠点が形成さ

れ、研究層に厚みを増し、日本の顔になり、次につながる(産学共同研究やベンチャー起業や国の

重点研究開発プロジェクトに発展しうる研究成果を複層的に生み出す)

#### ・取り組むべき研究領域の具体例

#### ・取り組むべき産学共同研究の具体例

今後検討されうる様々な研究構想に期待をもってもらうための具体例として提示

状況に応じリバイス・ピボットされうるし他の新しい研究構想が出てくることを奨励・歓迎

## 4. 今後に向けて